

21世紀

学校・家庭・地域

教育 ビジョン 特集号

学校を変える。教育が変わる。 CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER 平成15(2003)年3月31日発行 広島県教育委員会

義務教育改革ビジョン中期プログラム (平成15~17年度)

これまでの取り組みの成果と課題を整理し

義務教育改革をさらに進めます。

確かな学力

重点目標
1

基礎・基本を徹底!

●確かな学力定着プロジェクト

- ◆「基礎・基本」の定着状況に基づいた授業の改善を進めます。
- ◆複数教員による指導及び少人数授業などで教科ごとの学力向上対策を進めます。

●体力ステップアッププロジェクト

- ◆各学校で計画的に子どもたちの体力づくりに取り組みます。
- ◆スポーツエキスパートを派遣して運動部活動を活性化します。



重点目標
2

考える力を育成!

●ことばの教育県づくりプロジェクト

- ◆「ことばの教育」の普及啓発を進めます。朝の読書や多様な体験を通じた作文の取り組みを進めることにより、豊かなことばの力を育てます。

豊かな心

重点目標
3

夢や目標に挑戦!

●未来にはばたく幼児教育プロジェクト

- ◆幼稚園・保育所、小学校の連携を推進します。
- ◆市町村の実情に応じた幼児教育のプランづくりを支援します。

●心の元気育成プロジェクト

- ◆道徳教育の実践研究を行い、その成果を広めていきます。
- ◆スクールカウンセラーを配置し、教育相談体制を充実します。

●チャレンジ夢プロジェクト

- ◆小・中学校で系統的な進路指導を推進します。
- ◆職場体験活動を推進します。



信頼される学校

重点目標
4

学校を変える!

●学校マネジメント充実プロジェクト

- ◆学校評価システムの定着を進めます。
- ◆新しい人事評価制度により、教職員の能力開発や資質の向上を図ります。

●働く教職員づくりプロジェクト

- ◆10年経験者研修やマネジメント研修など、教職員研修を充実します。
- ◆自主研究グループや教育研究団体を支援します。

●わがまち教育推進プロジェクト

- ◆市町村合併を背景に広域連携を支援します。
- ◆市町村教育委員会の指導力の向上を支援します。

重点目標
5

県民総参加の改革!

●地域で支える教育推進プロジェクト

- ◆「ひろしま教育の日」関連事業を実施します。
- ◆体験活動指導者を養成します。



今後の課題

- 読書冊数や文章の読解力などが不十分です。
- 社会のルールやマナーの体得が必要です。
- 体力・運動能力が全国平均より低位です。
- 教職員の資質・指導力の向上が求められています。
- 幼児期からの心の教育の充実が必要とされています。
- 地域全体で子どもを育てる環境整備が必要です。

これまでの成果

確かな学力

- 公立小・中学生の基礎学力はおおむね定着しています。「基礎・基本」定着状況調査で

ほぼ7割の児童生徒が通過率60%をクリア!

- 習熟度別指導を実施している学校が増加しています。



信頼される学校

- すべての公立学校で「学校へ行こう週間」を実施し約40万人が参加しました。

豊かな心

- 道徳教育実践研究指定校では子どもの心に響く「道徳の時間」の研究が進んでいます。

Q1 あなたにとって「道徳の時間」は勉強になりますか。

Q2 あなたは次の「道徳の時間」が楽しみですか。



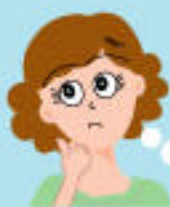
平成12年度 義務教育改革ビジョン前期プログラムがスタート(～平成14年度)

平成11年11月 広島県の教育再建の指針となる「義務教育改革ビジョン(21ひろしま教育プラン)」策定

平成10年5月 広島県の教育の状況に対して、文部省から13項目にわたる問題点が指摘され、改善に向けての取り組みがスタート

「広島県障害児教育ビジョン」と「広島県幼児教育ビジョン」を策定しました。

広島県 障害児教育 ビジョン



- 障害のある子どもの教育について相談したい。
- 専門家の指導を受けたいが、どこに行けばいいの。
- 子どもにあった教育内容を詳しく知りたい。
- 卒業後の進路や就職への不安がある。
- 障害の種類や程度に応じたきめ細かな指導をしてほしい。

今後の広島県における障害児教育の指針を策定しました。

教育内容を充実します

- 一人一人の子どもにあわせてきめ細かな教育を行います。
 - ◆幼児児童生徒一人一人の個別の指導計画を作成し、授業を充実
 - ◆それぞれの学校の取組みを評価し、結果を公表
 - ◆障害のある子どもが将来、職業的に自立できるよう、職業に関する専門学科やコースを備えた高等養護学校の設置を検討
- 教員が専門的な教育に対応できるよう、特殊教育教諭免許状の取得を推進します。



相談支援体制を 充実します

- 保護者に十分な情報を提供します。
 - ◆相談機関や学校の情報をホームページに掲載
 - ◆障害児教育に関するガイドブックを作成
 - ◆モデル校に教育相談主任を配置
- 医療的ケアの必要な児童生徒を支援するため、養護学校に看護師を配置します。
- 教育、福祉、医療などの関係者が一体となった相談支援体制の整備を促進します。



子どもにあった学校選びを 支援します

- 一人一人の子どもが、障害の種類や程度に応じた教育を受けられるよう、市町村の就学指導委員会の機能充実を支援します。
 - ◆就学指導担当者への研修を実施
 - ◆教育、医学、心理学などの専門家を紹介
- *就学指導委員会は、障害のある児童生徒一人一人に必要な教育内容について、専門的・総合的に調査・審議し、適切な入学先について市町村教育委員会へ勧告する機関です。



学校や市町村での取組みを支援

能力や可能性を最大限に伸ばし、「生きる力」を培います。

広島県 幼児教育 ビジョン



- 子育てや教育について気軽に相談したい。
- 保護者どうしが交流できる場がほしい。
- 小学校に入学しても困らないように教育をしてほしい。
- 先生・保育士の指導力を高めてほしい。
- もっと子育てについての情報がほしい。

今後の広島県における幼児教育の指針を策定しました。

地域の子育て活動を支援します

- 地域の「声かけ運動」「あいさつ運動」を促進します。
- 大学生、地域ボランティアの保育参加や、幼児と小・中・高校生の交流活動を支援します。



教育内容を充実します

- 小学校へなめらかにつながるよう、幼児期の教育・保育を充実します。
 - ◆絵本の読み聞かせなどにより「ことばの力」を育成
 - ◆基本的な生活習慣や人と関わる力を育成
- 教員・保育士の専門性を高めるため、研修機会や内容を充実します。



保護者の不安に応えます

- 保護者の交流や子育て情報の提供を行います。
 - ◆保護者の交流の場の設置を促進
 - ◆子育て相談が気軽にできる子育て支援センターを充実
 - ◆インターネットによる幼児に関わる情報提供を充実
 - ◆父親の子育て参加を促進



幼稚園・保育所や市町村での幼児教育のプランづくりを支援

「生きる力」の基礎や「生活や学習の基盤」を培います。

ご意見などは、広島県政もみじファクスや郵送でも受け付けています。

【教育長ホームページ】<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/> 【郵送】〒730-8514 広島市中区基町9-42

【県政もみじファクス】FAX082(224)1122 ボックス番号80034

【郵送】〒730-8514 広島市中区基町9-42
広島県教育委員会総務課企画広報室宛
【ネットライン】と明記してください。